

****春の部別 男子1部昇格ならず****

2013.4.21（日）、市立堺高校にて男子部別戦 2部リーグ Dゾーンが行われました。

結果は、Dゾーン2位で1部昇格はなりませんでした。

対戦成績は以下の通りです。

天王寺 2vs0 常翔啓光学園

天王寺 0vs2 市立堺

天王寺 2vs0 阪南大学

天王寺はエース山田君（2年）を柱に、木林君（2年）、佐々木君（2年）がセンターから早い攻撃でかき回す攻撃パターンがほぼ完成。山田くんは、絶好調で相手ブロックを跳ね返して、あるいは上から抜いて決めていました。

また、従来からクイック（センター攻撃）は課題でしたがセッターとのコンビも良く要所で見事に決めていました。正セッターの倉田君（2年）のひざの故障で、酒井君（3年）がセッターに回っていました。酒井君は、ライト攻撃の要なので、もったいない気もしました。また、本来リベロの松田君（3年）がエース対角に入っており、決定力はないまでも、巧みなフェイントも交え十分機能していたと思います。本多君（3年）もアタック、サーブともに成長ぶりを見せてくれました。



2戦目の市立堺は昨年の秋の部別で1部から降格したチーム。天王寺のブロックが良く、相手のコンビプレーもそれほど決まってはいませんでしたが、ネット際のプレーがうまくブロック越しのフェイントや押し込みについていけないケースが多かったです。

市立堺はブロックもしっかりと飛んでくるチームで、また、良く声を出しあってプレーヤーの連携も良く、とにかく明るい雰囲気。1セット目は山田君の打ち損じもありうちとしてはなかなか調子に乗れませんでした。2セット目は先行されながらも 23-23 で追いつきましたが結局敗退。天王寺は決してベストメンバーではなく、何と言っても精神的支柱でムードメーカーのキャプテン辻岡君を怪我で欠いており、リードした展開でも今一つチームとして乗って行けなかった感じがしましたが、個々人のバレーの能力では決してひけ

を取っていなかったと思います。

市立堺戦に敗退した後、いつもクールな山田君、また木林君が悔しさを目や頬に腫らしていたのが印象的でした。

合宿では、けが人が多く2部維持も困難ではないかと心配しましたが、急造なりにも個々の能力を結集させてなんとか残ってくれたという感じです。今後、6月の近畿大会予選に向けてキャプテンもチームに復帰できる様ですから、もう一度まとめ直してさらに強い天王寺バレーを見せてほしいものです。

今日も応援には寺島君（58期）、清水君（65期）初め、生徒の父兄も駆け付けてくれました。

現役の皆さん、顧問の駒井先生、美濃出コーチ、OB、父兄の方々には本当に御疲れ様でした。

※1年生が3名（いずれも未経験者）とマネージャーが2名入部しました。



これからも応援よろしくお願ひします。